

# 第5学年 社会科「自動車の生産にはげむ人々」

◆本時の指導（第8時/全9時間）



## (1) 本時の目標

環境や福祉などに配慮した自動車に着目して、多様な人々のニーズや社会の動向を反映した自動車生産が進められていることを捉える。

## (2) 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 前時の学習を振り返る。 ・開発部門で働く人々が新しい自動車の開発を進めていることを確認する。	・前時のノートを確認し、自動車の生産にはたくさんの関わっている人たちがいることを確認する。
	今の自動車づくりには、どのようなことが求められているのだろう。	
展開	2 各種のニーズに対応して生産されている自動車を資料から読み取り、ノートに整理する。 ①工夫や努力を調べ、ノートに書く。 ②調べた工夫や努力について、発表し合う。  3 自動車工場でも、同じように「ユニバーサルデザイン」「安全」「環境」に気を付けていることがあるかどうかを教科書から読み取り、話し合う。	・教科書P134～135の資料や説明から、これらのニーズに対応している自動車を見つけさせる。  ・友達の意見を聞いたり、追記された黒板を見たりして、「ユニバーサルデザイン」「安全」「環境」について整理して理解させる。  ・自動車工場の工夫を読み取り、話し合いながら「ユニバーサルデザイン」「安全」「環境」の3つに分類する。  ★多様な人々のニーズや社会の動向を反映した自動車生産が進められていることを捉える。
まとめ	4 本時の振り返りをする。	・板書を振り返り、今後どのような自動車生産が求められていくと思うかノートに記入する。  ◇多様な人々のニーズを社会の動向を反映した生産が進められていることを理解している。（ノート）

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

「ユニバーサルデザイン」「安全」「環境」に気を付けていることについて、積極的に話し合うことができていた。これからの自動車の生産について考えることを通して、「次のことを考える力」を育むことができた。

### 【課題】

「ハイブリッド車」や「乗り降りしやすいように回転する自動車のシート」などのイメージがしきれていない児童もいた。自分の考えをもつ手だてとして動画資料などを提示する必要があると考える。



# 第5学年 家庭科「物を生かして住みやすく」

◆本時の指導（第7時/全7時間）



## (1) 本時の目標

これまでに学習したことを生かして、気持ちよく住むための計画を立てる。

## (2) 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 整理・整頓や掃除でどのようなごみや不用品が出たのか話し合い、書き出す。	・掃除で出ごみやよごれの行方について、4年生の社会科のごみに関する学習を振り返らせる。
	これまでに学習したことを生かして、気持ちよく住むための計画を立てよう。	
展開	2 自分の地域のゴミの出し方のきまりやマナーを調べて分類する。 3 物を生かして使う工夫や、ごみを減らすためにできることを話し合う。	・収集する人の安全にも気を配らせる。 ・動画を視聴し、発火の危険があることも押さえる。 ・3R（Reduce、Reuse、Recycle）を意識させる。 ・P57「もったいない」から、限りあるものを大切にし、長く使うという考え方にも着目させる。
まとめ	4 だれもが楽しく掃除をする方法について話し合い、計画を立てる。	◇住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境に配慮した生活における物の使い方などについて考えてまとめている。（ワークシート）



★ごみの行方について考えたり、ゴミの出し方のきまりを守らないとどうなってしまうかを考えたりする。

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

4年生の社会科「ごみの処理と再利用」での学習を振り返り、ルールを守らないことで発火してしまう可能性もあるということを動画で確認することで、「次のこと」を意識して学習することができた。

### 【課題】

導入の「整理・整頓や掃除でどのようなごみや不用品が出たか」の例があまり出なかった。事前に家庭での様子を記録させ、イメージさせることが課題である。

# 第5学年 音楽科「いろいろな音の重なりを楽しもう」


◆本時の指導（第2時／全5時間）



## (1)本時の目標

伴奏に合わせたり、重ね方を工夫したりしながら演奏しよう。

## (2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 曲全体をつかむ。 ・全パートが重なっているものを聴き、演奏のイメージをもつ。	・自分のパートを演奏しているイメージをもちながら聴く。
	2 自分のパートを演奏練習する。	
展開	3 伴奏に合わせてパートごとに演奏する。 ・7つのパートが交代で演奏する。	・クラベスなどで拍をとり、拍を感じながら演奏できるようにする。
	いろいろな重ね方を試してみよう。	
	4 いろいろな音の重ね方を知り、試してみる。 ・5つの重ね方を提示し、一つずつ演奏しながら試していく。  ・グループごとに重ね方を考える。  ・1つのグループの重ね方を紹介する。	・音の重ね方を分かりやすい言葉で伝える。 （足し算方式・引き算方式・いっしょ・リレー呼びかけと答え） ・言葉での説明だけでなく、重ね方を示した図形楽譜も用意し、理解できるようにする。 ・重ね方を試行錯誤しやすいように、工夫したワークシートや教具を用意する。  ★楽器の音が重なり合う響きを楽しみながら、意見を出し合って重ね方を工夫する。   ・重ね方の工夫を聴き手が感じ取って演奏者に伝える。  ◇楽器の音色やいろいろな音が重なり合う響きに興味・関心をもち、パートの重ね方を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 （行動観察・ワークシート）
まとめ	5 本時のふりかえりと次時のめあてをもつ。	・次時は、グループごとに決めた重ね方で演奏をまとめることを知る。

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

音の重ね方の例を図形楽譜や“〇〇方式”などイメージしやすい言葉で提示したことで、どの子も重ね方について自分の考えを表出することができ、聴く側も友達の工夫に気づきやすかった。

### 【課題】

音楽づくりでは、試行錯誤した経過や、工夫したものが記録しやすく修正しやすい教具があるとスムーズに活動が進む。今後もタブレットの活用などを含めて考えていく必要がある。



# 第5学年 体育科 「大北ワールドカップ」

◆本時の指導（第2時/全10時間）総合3時間・体育7時間   

## (2) 本時の目標

作戦カードや練習方法を知り、自分やチームに合った作戦を見つける。

## (2) 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 準備運動、めあての確認をする。 ・場の準備をする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">自分やチームに合った作戦を見つけよう。</div>	・必要な部位を十分にほぐすよう言葉掛けをする。 ・ゲームにつながる運動をする。 ・安全に気を付けて準備するよう言葉掛けをする。
展開	2 チームの作戦を決める。  3 チームの作戦に応じた練習をする。  4 試しのゲームをする。  5 チームでの振り返り・練習	・作戦に合ったポジティブな言葉を考えさせる。   ★ポジティブな言葉を掛け合いながら運動をする。 ◇【思】自己やチームの特徴に応じた作戦や練習方法を選んでいる。（観察・学習カード）  ★作戦を意識したゲームをする。    ◇【主】仲間と言葉を掛け合い、考えや取組を認め合おうとしている。（観察・学習カード）
まとめ	6 場の片付けをする。  7 整理運動をする。	

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

前段の総合的な学習の時間において、ゲストティーチャー（フットサル選手）を招いて授業を行った。プロの選手の実体験を聞く体験を通して、ポジティブな言葉掛けの重要性に気付かせた。児童同士にポジティブな言葉掛けを意識させたことにより、自分やチームのよいところを見つけるきっかけとなった。また、作戦を意識して練習やゲームを行うための話し合いをすることにより、自分がすべき次の行動（プレー）に目を向けさせることができた。

### 【課題】

ゲームや練習を外から見ていて気付けるよさやできる声掛けがあるので、順番に外から見る時間を設ける等の工夫により、「自分やチームのよいところを見つける力」を伸ばすことが必要である。